

ASEANスマートシティ・ネットワーク(ASCN)について

概要

- 2018年ASEAN議長国シンガポールが提案した、ASEAN加盟各国のそれぞれ3都市程度がスマートシティ開発のために協力するためのプラットフォーム。
- ASCNの目標
 - (1) スマートシティ開発について実証都市間の協力促進
 - (2) 民間と協力しての有望なプロジェクト開発
 - (3) 域外のパートナーからの資金調達等の協力促進
- ASCNでは、各都市がそれぞれのニーズに応じて優先する分野（交通、水質、エネルギー、公共サービス、ICT等）を選択

ASEAN各国および実証都市（10ヶ国26都市）

インドネシア (ジャカルタ、バニユワンギ、マカッサル)	カンボジア (プノンペン、バットアンバン、シエムリアップ)	シンガポール	タイ (バンコク、チョンブリー、プーケット)	フィリピン (マニラ、セブ、ダバオ)
ブルネイ (バンドル・スリ・ブガワン)	ベトナム (ホーチミン、ダナン、ハノイ)	マレーシア (クアラルンプール、クチン、ジョホールバル、コタキナバル)	ミャンマー (ヤンゴン、マンダレー、ネピドー)	ラオス (ビエンチャン、ルアンパバーン)